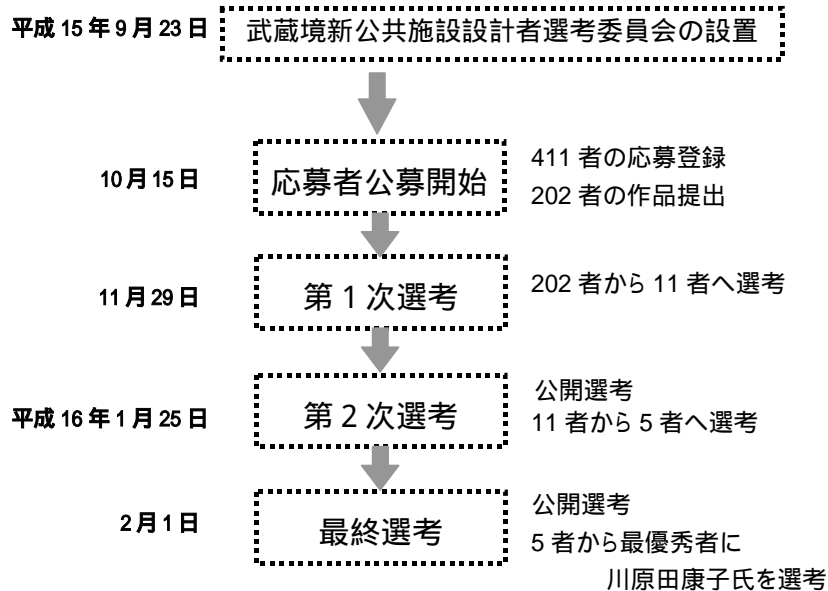


武蔵境新公共施設設計プロポーザル経過



第 1 次選考（平成 15 年 11 月 29 日 会場：市役所 801 会議室）

第 1 次選考では提案書の匿名性を確保するため、登録番号のみを用いて審議された。

選考に先立ち、提出者の資格条件、提出図書要件等の確認を行い、条件違反（提案書用紙枚数違反）のあった登録番号 280 について協議し、失格とした。失格事項の確認後は以下の経過で選考が進められた。

1) 第 1 段階選考

提案書をもとに選考が進められ、各選考委員が個々に提出された提案書を読み込んだのちに次段階に進めるべき提案者の投票を行った。投票の結果、76 者が得票したが、協議の結果、複数票得票したものを基準に 33 者が次段階へ進み、その提案書がパネルに掲示された。

第 1 段階通過者（登録番号）

8, 16, 20, 22, 26, 31, 41, 62, 68, 69, 71, 101,
102, 106, 109, 113, 115, 116, 120, 123, 130,
158, 165, 239, 245, 249, 268, 281, 288, 302,
352, 381, 386



第 1 次選考の様相（第 1 段階）

2) 第2段階選考

掲示された 33 者の提案書の前に選考委員全員が集まり、1 つずつ内容を確認し、意見交換を行った。その後、次段階に進むべき提案者の投票を行った。22 者が得票したが、協議の結果、複数票得票した 13 者が次段階へ進むものとして選出された。

第2段階通過者（登録番号）

20, 41, 69, 71, 102, 106, 120, 130, 249, 268,
281, 302, 381



第1次選考の様相（第2段階）

3) 第3段階選考

提案書の評価とともに設計能力の確認が必要とされ、提案者の経歴、実績等に対して意見交換が行われた。なお、ここでも提案者の匿名性を確保するため、提出された経歴書のうち、氏名、事務所名、施設名等の提案者を特定できる内容はあらかじめ削除されたものが事務局より各選考委員に配布された。

その後、第2次選考での提案書の提出を求める 10 者を選出する投票を行った。投票の結果、13 者全てが複数票得票したが、協議の結果、得票数下位者 2 者を除いた 11 者を選出した。

更に 10 者に絞り込むべく協議が行われたが、優劣がつけがたく、最終的には 11 者について第2次選考での提案書の提出を求めることとなった。

4) 第1次選考通過者（登録番号）

41, 69, 102, 106, 120, 130, 249, 268, 281, 302, 381

第2次選考（平成 16 年 1 月 25 日 会場：武蔵野スイング・レインボーサロン）

第2次選考でも提案書の匿名性を確保するため、登録番号のみを用いて審議された。選考に先立ち、選考委員 6 名の本プロポーザルにおける選考の視点が述べられたのち、以下の経過で選考が進められた。

1) 失格事項の確認

登録番号 106 の提案書形式が実施要領に従ったものでない（横使い）ことについて審議され、「提案書を横使いしたことにより、提案そのものが他の者より優位に働くものとは判断されない。実施要領に反した行為であることを踏まえて各選考委員が評価する」ことを確認したうえで、106 番を審査対象とすることとした。

2) 予備審査

会場に掲示された11者の第1次提案書及び第2次提案書を1者ごとに閲覧し、提案内容の評価を選考委員全員で行った。



第2次選考の様様（予備審査）

3) 実績審査

11者の経歴、取組体制について、名前、所属、作品名を付した資料を参考に審議した。

4) 第1段階

選考の進め方を議論した結果、まず、各選考委員一人5票を持ち票として無記名による投票を行い、その結果を議論することとした。

・投票結果

登録番号	得票数	登録番号	得票数	登録番号	得票数
41	6	120	5	281	0
69	1	130	4	302	3
102	2	249	1	381	0
106	5	268	3		

・協議

得票のなかった281、381について、選考の対象から除外することを選考委員全員一致で確認。

得票数1の69、249の取り扱いについて議論。2者の提案内容を再度評価したうえで、2者を今後の選考を進めていくうえで残していくかについて議論した結果、除外することで決定。

選考の対象として残った7者に関して再度、提案書の内容を確認し、意見交換を行った。同時に、設計能力を確認するために、経歴、実績、取組体制等の書類に対しても意見交換が行われた。



第2次選考の様様（第1段階）

5) 第2段階

最終選考に進める5者の選考方法について協議し、各選考委員一人5票以内を持ち票として無記名で投票を行うこととした。

・投票結果

登録番号	得票数	登録番号	得票数	登録番号	得票数
41	6	120	6	268	4
102	2	130	5	302	2
106	4				

・協議

得票数2の102、302について、最終選考に進む5者から除外することについて協議した。2者の提案内容について意見交換が行われた結果、2者を最終選考に進む5者から除外することで意見一致した。

6) 第2次選考通過者

登録番号	氏名	登録番号	氏名
41	佐藤光彦	130	川原田康子
106	福田卓司	268	古谷誠章
120	伊東豊雄		

第3次選考（平成16年2月1日 会場：武蔵野公会堂）

主催者挨拶、選考委員会及び提案者の紹介、選考委員会委員長挨拶、経過・進行説明の
のち、以下の経過で選考が進められた。

1) 提案者のプレゼンテーション

事前にくじ引きで決められた以下の順番で、提案の骨子、考え方等についての説明が行われた。

・福田卓司 川原田康子 佐藤光彦 古谷誠章 伊東豊雄

2) 質疑応答

共通質疑

各選考委員より提案者に対する共通の質疑が行われた。

個別質疑

提案者一人ずつに、選考委員より質疑が行われた。



第3次選考の様様（質疑応答）

3) 選考

選考委員による意見交換

意見交換は、各選考委員が各提案者の説明と提案書に関する講評を述べることを中心に行われた。

最優秀者の選考

選考委員の協議により、投票によって最優秀者の選考を行った。方法は各選考委員1票を持票として記名式で行われ、得票数最上位者の川原田康子氏を最優秀者に決定。

・投票結果

提案者 \ 選考委員	中川	倉田	坂本	工藤	植松	清水	得票数
佐藤							1
福田							1
川原田							2
伊東							1
古谷							1

優秀者の選考

続いて、投票により優秀者の選考を行った。方法は各選考委員1票を持票として記名式で行われ、得票数最上位者の伊東豊雄氏を優秀者に決定。

・投票結果

提案者 \ 選考委員	中川	倉田	坂本	工藤	植松	清水	得票数
佐藤							2
福田							0
伊東							3
古谷							1

4) 選考結果

最優秀 川原田康子 氏
 優秀 伊東豊雄 氏
 入選 佐藤光彦 氏
 福田卓司 氏
 古谷誠章 氏



受賞者への表彰状の授与